

2020年11月16日

株式会社カプコン  
代表取締役社長 辻本春弘

## 不正アクセスによる情報流出に関するお詫び

2020年11月2日以降発生しておりました、当社グループシステムへの第三者からの不正アクセスにより、お客様および関係者の皆様に関する情報が流出した可能性があることが判明いたしました。皆様方には多大なるご心配をおかけすることになりましたことを、心より深くお詫び申し上げます。

以下、その経緯を記載いたします。

2020年11月2日未明、当社の社内システムに対し、第三者からのサイバー攻撃による不正アクセスがなされた疑いがあることがわかりました。

そのため当社は、速やかに、一時的にネットワークの稼働などを見合わせるなどして不正アクセスの影響を最小化する措置をとるとともに、外部セキュリティ専門ベンダに対し、この不正アクセスに関する調査・対応を依頼するなど、対応に努めてまいりました。また、遅滞なく大阪府警や個人情報保護委員会に報告・相談いたしました。

この不正アクセスは、いわゆる「オーダーメイド型ランサムウェア」による「標的型攻撃」であり、当社を標的にして巧妙に、サーバ保存情報の暗号化やアクセスログの抹消を伴うもので、不正アクセスの影響範囲等の調査が難航いたしました。

本日までの調査の結果、お客様あるいは当社お取引先様に関する情報が流出した可能性があることが判明いたしました。

現時点での調査状況につきましては、[こちら](#)に詳しく記載させていただいております。

調査は引き続き行ってまいります。調査の結果は、当社ホームページにて公開、あるいは個別にご連絡させていただきたいと考えております。

今後、警察等の関係公的部門および専門家との連携を強化し、被害の拡大防止に努め、皆様方の情報の拡散防止に責任をもって取り組む所存です。

また、今回の事態を重く受け止め、二度とこのようなことが起きないよう、全社一丸となって再発防止に取り組むことをお約束いたします。

以上の次第で、皆様方には多大なるご心配をおかけすることになりましたことを、改めて心より深くお詫びいたします。